

ハンブルク・ドイツ劇場専属俳優 原サチコ氏 ドイツ演劇レクチャー&ワークショップ (ヨーロッパ研究所主催 / ドイツ文学科共催)

日時：2026年7月7日(火)
17:20~19:00

場所：2-407 (上智大学 2号館4階)
※「ドイツ文化研究IV b」の授業教室

原サチコ氏に、ドイツ語圏の演劇創作と現地での俳優活動について舞台映像などを交えて興味深いお話を伺います。また、ドイツ文学科の受講生を中心にドイツ語の発声やテキスト音読のワークショップを行っていただきます。

- ◆対象：本学学生、教職員、一般
- ◆言語：日本語、ドイツ語 (ワークショップ)
- ◆開催方法：対面 (参加費無料)

SACHIKO HARA <原サチコ氏 プロフィール>

1964年生まれ。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。在学時より演劇を始める。
2001年ベルリンに移住、ドイツ語圏での演劇活動を始め現在まで80を超える作品に出演。
日本人俳優として未到の21年間ドイツ語圏公立劇場所属女優として活躍中。今までウィーンのブルク劇場はじめ4つの公立劇場に専属契約、現在はハンブルク・ドイツ劇場専属。クリストフ・シュリンゲンジーフ、ニコラス・シュテーマン、ルネ・ポレシュ、クリストフ・マルターラー、フィリップ・ケーヌ、ケイティ・ミッチェルなどドイツ演劇界の名だたる演出家の多くの作品に出演。
井上ひさし作「少年口伝隊一九四五」をドイツ語訳しヨーロッパ初演、その後各地で朗読を行うと共に広島原爆記憶伝承活動「ヒロシマ・サロン」を続けている。
2025年日独間文化・学術に貢献した者に贈られるJaDe賞受賞。
またハンブルク舞踏団を結成、この夏、熊野で合宿・公演も予定している。